



高齢者の身近な相談窓口 地域包括支援センター朝光苑
朝霞市青葉台1-10-32 / ☎048-450-0855

読者の窓／Sさん作
「ハロウィン」



誰もが認知症になりうる時代

『新しい認知症観』とは？

皆さんは、『認知症』に対して、どのようなイメージを持っていますか？認知症になると、「何もわからなくなってしまう。社会から疎外される」「新しいことが覚えられない」「介護に対する拒否が強く、周囲に迷惑をかける」など、否定的なイメージを持っている方が多いのが現状です。その為、認知症と言われることを恐れ、受診を拒否し、症状が悪化するまで症状と向き合うことができない場合が見受けられます。

国は認知症基本法を成立、令和6年1月1日施行しました。認知症のある人が、尊厳と希望を持って暮らすことができるよう7つの基本理念を掲げています。主な内容としては、認知症のある方が本人らしく生活し、社会の一員として様々な機会への参画をすること。また国民が認知症に関する正しい知識や理解を深めることなどが求められています。

高齢化により認知症は他人事ではなくなりました。『新しい認知症観』へ私たちも考え方を転換していきましょう。

*** 新しい認知症観 ***

認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも一人一人が個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方(厚生労働省 認知症施策基本計画より)

認知症を特別な病気と
考えずに受診しよう！



認知症のことをもっと
知ろう！



認知症の方も地域の一員
として、ともに暮らそう！



脳の健康について学びました！

令和7年7月1日、中央公民館・コミュニティセンターで「脳の健康セミナー」を開催しました。講師に公文教育研究会学習療法センター社員の方をお招きし、脳の機能や認知症などの基礎知識を学び、計算問題・音読・すうじ盤などの脳トレ体験を行いました。30人が参加され、「簡単な計算や読み書きで脳が活性化すること学べた」「これからは新聞を声に出して読むようにしたい」などの感想が聞かれ、脳の健康を保つために日々の生活で実践できることを楽しく学びました。



全員がすうじ盤を体験！数字が書いてある盤に、同じ数字が書いてある磁石のコマを置いていき、全部置くまでの時間を計測。ゲーム感覚で楽しまれていました♪



生活支援コーディネーターがご紹介！

は

っ

ら

っ

散

歩



始まりました！おしゃべりサロン

今回は膝折市民センター内シルバーサロンで開催されている「おしゃべりサロン」をご紹介します！

おしゃべりサロンはその名のとおりおしゃべりを中心としたサロンですが、最近ではボッチャをやったり歌をうたったりと、自由に過ごしています♪

特にボッチャは大いに盛り上がり、負けると悔しがり、勝つと大喜びしたりするなど、皆さまの本気度が窺えてとても楽しい時間になっています！

おしゃべりサロンが行われているシルバーサロンは、高齢者がどなたでも自由にご利用できる場となっています。そのため、同じ時間に別の利用目的で訪れてもOKです。ひとつの団体が独占するのではなく、皆さまで譲り合いながら、マナーを守って楽しくご利用しましょう♪興味がある方ぜひ立ち寄ってみませんか？



【活動について】

毎月第4木曜日9:30～11:00

膝折市民センター シルバーサロンにて
出入り自由、申し込みや予約不要

高齢者の 相談窓口

皆さまからお寄せいただく
相談をご紹介します。



私たちがお受けします！

Q

朝霞市高齢者福祉サービスの紙おむつ支給について
教えて下さい。

A

在宅で寝たきりや重度の認知症の状態のため、常時
おむつを必要とする方に支給されます。介護認定を受け
ていない方は、実態調査が必要になります。

65歳以上の在宅の方で、対象者本人が住民税非課税
の方に限ります(生活保護の受給者で、紙おむつの支給
を受けられる方は対象外となります)。

所定の品目から紙おむつかりハビリパンツとパットの
セットを選ぶことができます。毎月1回運送業者により
自宅へ配送されます。

申請を希望する場合は、市役所又は地域包括支援セ
ンターまでご相談ください。

♡ チェック ♡

★朝光苑のホームページ www.choukouen.com/

(ホームページからのご相談もお受けしています)

★朝霞地区福祉会のインスタグラム www.instagram.com/asakachikufukushikai_official/

